

遺伝子組み換えが暮らしに及ぼす影響と 食と農の大切さを伝えるための人づくり

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

協力団体

49団体

講師、ファシリテーター

3人

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

70%



シンポジウム ゲノム編集と食の安全・安心

課題

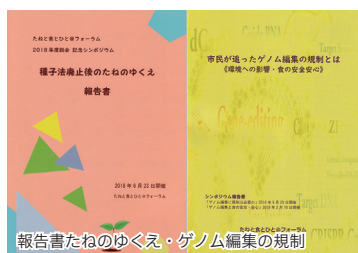
種子生産に関心を持ち続ける。カルタヘナ法の規制対象に農作物、ゲノム編集作物を加える。遺伝子組み換え表示の改正。丁寧で分かりやすい情報発信。啓発活動の担い手育成。

目標

持続可能な食と農、たねに関心がある人々が学習会やたねと食@カフェ等を通じて理解を深め、地域を越えて繋がる。そこから啓発活動や政策作りの担い手が増える。

活動内容と成果

47都道府県へ主要農作物種子法廃止後の取り組みについて調査し回答(100%)結果を公表した。6月にシンポジウム「種子法廃止後のたねのゆくえ」、9月にシンポジウム「ゲノム編集の規制とは」、2月にシンポジウム「ゲノム編集と食の安全・安心」、3月に映画「NORIN TEN 稲塚権次郎物語」を開催した。地域に出向いて開催した「たねと食@カフェ」では、たねや食、農、遺伝子組み換え表示等について参加者が意見を出し合った。遺伝子組み換え原材料調査ではビールと醤油を行いメーカーの回答を公表した。



報告書たねのゆくえ・ゲノム編集の規制



シンポジウム ゲノム編集の規制とは

全助成期間の活動を振り返って

社会と市民へ問題提起、情報発信等を行った。これまで取り組んできた遺伝子組み換えや主要農作物種子法廃止等をテーマとする活動に加え、ゲノム編集に関する国(環境省・厚労省)の急な動きへの働きかけは自然環境や生物多様性、食と農に広く関わる重要なことと位置づけた。複数の専門的研究者から示される信頼に応えることと異なる立場の意見を聞くこと、何より多様な団体・市民との信頼関係が活動の基盤となった。

活動地域 | 日本全域

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア1342

電話: 03-6869-7206

E-mail: info@nongmseed.jp

https://nongmseed.jp/



今後の
展望

これまで培ってきたテーマ別知識や情報、ネットワーク等を踏まえ、発展させるための活動に取り組む。「たね」という観点から生物多様性と環境の持続可能性を確保するため、社会と市民に向けた問題提起、情報発信等を行う。シンポジウム開催を通じて、専門的研究者、一般市民、政策決定者、メディア関係者等の間に共通認識を作りだす。小規模のカフェを多数開催し、シンポジウムの成果を多くの市民に還元する。